

令和6年度「医療情報の理解促進に関する研修会」のテーマについて

1 研修目的

患者が自身の主体的な選択・判断の基となる医療情報の理解を深めるとともに、患者やその家族と医療従事者等のより良い関係づくりを進めるため、医療従事者等を対象に、効果的な説明・助言の方法や説明を行う上で参考となる制度・知識の提供等を行う。

2 開催時期 令和7年2月頃を予定

3 開催方法 研修動画のオンデマンド配信形式

4 研修会テーマ（案）

- （1）わかりやすく症状説明をするためのコツ
- （2）患者対応における困難場面について

(参考) 過去の開催実績

	開催日時	内容	講師	場所	人数(実績)
令和元 年度	2月13日(木) 15時～17時	■ヘルスリテラシー向上のために医療従事者ができること		東京都議会議事堂 都民ホール	121名
		○適切な情報提供のあり方を考える	聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授 中山和弘氏		
令和2 年度	開催なし	—	—	—	—
令和3 年度	2月1日(火)～ 3月18日(金)	■いま知っておきたい、患者との関わり方		※オンデマンド配信	293名 (申込者)
		○リスクコミュニケーションとオンライン診療ー (1)医療従事者が知っておきたいリスクコミュニケーション (2)実臨床におけるオンライン診療の現状と今後の展望	(1)株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ 代表 蝦名 玲子氏 (2)医療法人社団M-FOREST みやざきRCクリニック 院長 宮崎 雅樹氏		
令和4 年度	2月1日(水)～2月 28日(火)	○患者と医療者の協働に向けたヘルスコミュニケーション	帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 石川 ひろの氏	※オンデマンド配信	510名 (申込者)
		○患者とのかかわり方を考える～対応に難しさを感じた事例から～	国立がん研究センター中央病院 精神看護専門看護師 佐々木 千幸氏		
令和5 年度	2月15日(木)～3 月15日(金)	○文脈に合わせたコミュニケーション	国立大学法人筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 准教授 中島 俊氏	※オンデマンド配信	498名 (申込者)
		○日本人患者にも役立つ「やさしい日本語」	順天堂大学大学院 医学研究科 医学教育学 教授 武田 裕子氏		